



取材先

戸田市シルバー人材センター

手芸「さくら」

5人のメンバーで構成され、月1回シルバー人材センター会議室で活動している。



手芸「さくら」の皆さん

このコーナーでは、市内で元気に生き生き活動しているシニア世代の方々を紹介します。

集まるやいなや机に広げられた、色とりどりの折り紙。今回取材したのは、折り紙を中心に作品をつくる、手芸「さくら」の皆さんです。

持ち寄った文房具を駆使しながら黙々と折り始める…と思いきや、室内がどんどんにぎやかに! 「これはどうやるの?」「折り方忘れちゃった!」。初めは離れて座っていた皆さんですが、気付けば部屋の一角に集まって、談笑しながら活動しています。細かい作業が伴い、集中力が求められる折り紙。パーツを寄せ集めてつくる立体折り紙が完成したときは、達成感もひとしおだと言います。「夢中になると体がこわばっちゃうの」



というお話を踏まえると、「さくら」の皆さんのようにコミュニケーションを取りながら、楽しんで折ることが、折り紙の最大のコツかもしれません。

集合写真では、メンバーそれぞれが作品を手にパチリ。我が子のように大切な作品を持った皆さんの表情は、きらきらと輝いていました。



こどもアート館



わたなべ こはる
渡部 心春さん
(戸田第一小学校 6年)

作品名

「元田んぼ」

5年生の時にほかのクラスが行っていた田んぼの活動を見に行ったり、手伝ったりしていたので、この場所を選びました。6年生になった今は、帰り道に少し寄ることもあり、今でもお気に入りの場所です。遠近法を取り入れたり、水分を多くした絵の具を使ったりすることで、影の色も上手に付けることができました。



手話でコミュニケーション

第73回



今月は、「分かる」「分からない」についての手話を紹介します。

問い合わせ 障害福祉課(内線 297)

● 分かる



右手のひらの指の間隔を閉じ、胸をなで下ろす。

● 分からない



右手のひらの指の間隔を閉じ、親指以外の指先で右肩辺りを、あおぐように2回払い上げる。



市手話チャンネル

さまざまな手話を動画で紹介しています。ぜひご覧ください。